

やわたのまち

「千葉県指定無形民俗文化財」
安房国司祭
鶴谷八幡宮例祭

令和5年9月16日(土)・17日(日)

古くこの安房国の国府・三芳村府中（現在南房総市府中）に総社が創建され、その流れを汲むのが鶴谷八幡宮です。平安時代の末期、諸国で六所宮として各地の神社の神々を、同じ社殿または境内に祠り、国司の重要神事として六所祭を行うようになりました。この頃、安房国では、安房・洲宮・下立松原・手力雄・山宮・山荻・莫越山・木幡の八神社の分霊を祠り六所宮と称し、総社に祠って六所祭を行うようになりました。これが、現在の「安房国司祭やわたのまち」につながっていると言われています。その後、江戸時代には北条地区の山車と新宿のお船、明治から高井の高皇産靈神社が加わり、昭和の始めに、湊の子安神社が加わり、現在のような盛大なおまつりになりました。



山車

- 蛭子神社・南町
- 神明神社・新宿（お船）
- 諏訪神社・六軒町
- 神明神社・神明町
- 神明神社・三軒町

1 蛭子神社

ひるこじんじゅ
南町
館山市北条
祭神/事代主命

●「えびす」とも読める「ひるこ」大神は、商売繁盛・漁業豊漁、五穀豊稔、交通安全の護神。山車は、明治30年に建造され、総体は朱と黒の漆塗り、彫刻は「浦島」を主体とした、竜・松などが躍動的に踊っている。人形は「神武天皇」。

神輿

- 安房神社
- 鶴谷八幡宮
- 洲宮神社
- 下立松原神社
- 手力雄神社
- 山宮神社
- 山荻神社
- 莫越山神社
- 木幡神社
- 高皇産靈神社
- 子安神社

2 神明神社

しんめいじんじゅ
新宿（お船）
館山市新宿
祭神/天照皇大神

●新宿のお船は「神明丸」（しんめいまる）と呼ばれており、現在のお船は昭和54年建造の3代目。かつて、汐入川に海が大きく湾入していた頃、八幡神社に祀る「安房神社」他の南三社の御三神を新宿の「お船」でお渡ししたということに由来している。

3 諏訪神社

すわじんじゅ
六軒町
館山市北条
祭神/建御名方命 品陀和氣命 市村島姫命

●山車は明治20年代後半に建造されたもので、彫刻は「国分の彫刻師」として有名だった「後藤喜三郎義義信師」により明治30年に完成。竜虎の他、中国に伝わる孝子物語の3場面が彫られている。「黄金の鳳凰」も特色で、人形は「楠木正成」公。

4 下立松原神社

したちからおじんじゅ
南房総市白浜町湊口
祭神/天日鷲命 天照大神 高皇産靈神 天太玉命 大麻彦命 他一四柱

●創建は神武天皇元年。源頼朝公、里見氏の崇敬厚く、徳川氏からも御朱印地を受けていた。

5 神明神社

しんめいじんじゅ
神明町
館山市北条
祭神/天照大御神

●旧北条仲町と旧北町が合併してきた町内。町内中央に鎮座している北条村社である神明神社を町内鎮守社として崇敬している。旧北条仲町の山車。「鯉の滝昇り」が躍動的に描かれた分厚い刺繍の山車幕をほこる。彫刻は名匠後藤一門四天王の一人後藤義信作。人形は八幡神社祭神・応神天皇の母である「神功皇后」。

6 神明神社

しんめいじんじゅ
三軒町
館山市北条
祭神/天照大御神

●山車は明治32年、石井熊次郎の建造。平成30年に改修と共に胴幕を新調したもの。人形は「武内宿弥命」。その昔北条町だった頃、南町（現南町）、仲町（現神明町）、北町（現三軒町）とあつて、現神明町が2台の山車を出祭りにして三軒町の有志によって北町の山車を借りてお祭りをしてきた。昭和32年に三軒町の有志の方々によって北町の山車を譲り受け、現在に至る。

7 莫越山神社

なごしんじゅ
南房総市沓見
祭神/手置帆負命 彦狭知命 彦火々出見尊 他七柱

●当社は「延喜式神代帳」所載の安房国六座の一である。延喜の制には式内小社に、大化の制には国司の祭祀にあずかる。

8 安房神社

あわじんじゅ
館山市大神宮
祭神/天太玉命 天比理刀咩命 天富命・天忍日命

●神武天皇の御代、孫神天富命が沃壤を求めて阿波の忌部氏を率いてこの地へ住み麻穀を蕃殖さしめた。よって忌部氏貴住の所を安房郡と名付け、その鎮護神として天太玉命社を建て、のちに安房社と称した。延喜の制名神大社に列し官幣に預かった。平安朝以降安房の国一の宮として、その位置甚だ重く、領主里見氏をはじめ江戸幕府も、それぞれ30石を安堵した。

9 手力雄神社

たぢからおじんじゅ
館山市大井
祭神/手力雄命 天御中主命 太田命

●神武元年、忌部族が鎮祭した神社と伝承。「天の岩戸」神話で怪力を示した武神。江戸時代までは、大井大明神の名で尊崇され、里見氏が43石余の社領を寄進すると、徳川幕府もこれに倣った。里見義頼による造営（天正12年）が伝えられる本殿は、三間社流れ造りの檜皮葺で千葉県指定有形文化財。神輿を飾る狛犬は、武志伊八郎信由（波の伊八）の作である。

10 木幡神社

きわたんじゅ
館山市山本
祭神/正哉吾勝速日天 忍穂耳尊 栲幡干々姫命 天津彦火瓊杵尊

●景行天皇53年冬10月の創立という。後三条院の御時、はじめて鏡浦に放生会として神輿出御。現今、八幡宮出祭の神輿渡御祭が行われている。

11 洲宮八幡宮

つるがやはちまんぐう
館山市八幡
祭神/品陀和氣命 帯中比古命 息長帯比賣命

●平安朝の中期に安房国の総社として国府村（今の南房総市府中）に創建された。鎌倉時代に、八幡宮として当地に遷座。武家時代となり、殊に領主里見氏に厚く崇敬するところとなる。明治6年に郷社に、昭和15年に県社に昇格。

12 山宮神社

やまみやじんじゅ
館山市長田
祭神/大山津見命

●白雉年間、摂津の人、中臣幸彦が猛獣や作物の害を除き、生国摂津三島に祠る大山津見命をこの地に勧請した。

13 高皇産靈神社

たかみかみうらみじんじゅ
館山市高井
祭神/高皇産靈神

●創立年代不詳。明治6年に村社に列格。明治の初め頃より、安房国司祭に参加し、今日に至る。

14 洲宮神社

すのおやじんじゅ
館山市洲宮
祭神/天比理刀咩命 天鈿女命 天富命

●神武天皇元年に天富命が勅命を奉じ、魚尾山に奉祀された。当時魚尾山は海辺にあったので、洲神または、洲宮と称された。農業の神。明治6年県社に列す。

15 山荻神社

やまぎんじゅ
館山市山荻
祭神/稚産靈命 少彦名神 猿田彦神 大己貴神

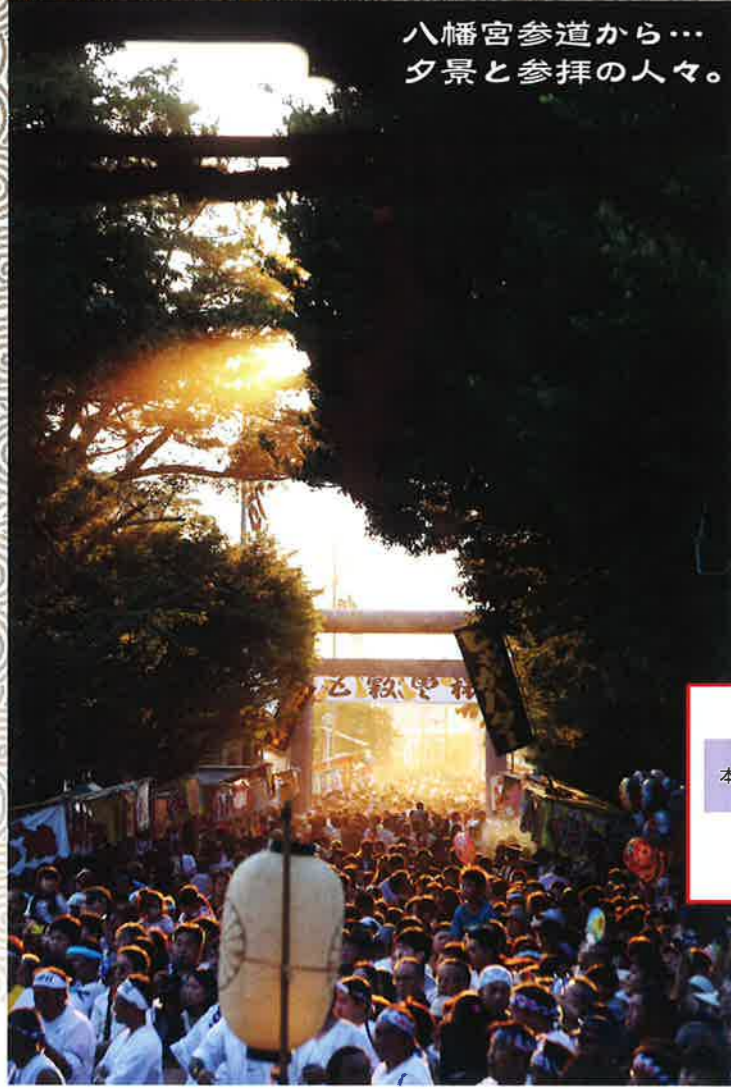
●景行天皇53年秋8月に巡幸、五穀豊稔を祈ったと記録されている。穀物の守り神、また幼児の虫封じの神として知られている。明治になり社名を現在のものに。

16 子安神社

こやすじんじゅ
館山市湊
祭神/豊玉姫命 彦火火出見命 うがや葺不合命

●創立養老3年と伝えられる。領主里見氏の崇敬社で、安産の神として知られる。もともと子安神社と称され、明治6年に湊神社、近年また子安神社と改められた。

八幡宮参道から…
夕景と参拝の人々。



17日 17:00
八幡宮の拝殿にて打ち鳴らす太鼓を合図に、お仮舎にて一夜を過ごした10社の神輿が、安房神社を先頭に、順次境内にて、モミ・サシを繰り返して、それぞれの神社へとご遷御されます。21:00頃、最後は安産の神様として有名な湊地区の子安神社の神輿がご遷御されます。

16日 13:30
八幡宮では13:00より16:00頃までの間に、各社を出発した10社の神輿がかけ声勇ましく、入祭して参ります。

16日 15:00
神明神社祭礼にあたり5台の山車とお船が神明神社の社殿前に整列。16:00より祭典、16:30より順次退出。北原信号手前よりUターンし、再度、官庁通りを経由し新宿神明神社までを進行します。

17日 13:00
2日目の昼、5台の山車とお船が集合。JA通りを経て八幡宮へと入祭し、祭典を執り行います。

16日 18:50
南町交差点より新宿踏切までの区間に5台の山車とお船が競演。19:10に新宿神明神社にて解散式を行い、終了後各々の町内へと帰ります。



山車・お船出祭町内

- 南町 ●新宿(お船)
- 六軒町 ●神明町
- 三軒町

神輿出祭神社

- 安房神社(大神宮)
- 洲宮神社(洲宮)
- 下立松原神社(白浜)
- 手力雄神社(大井)
- 山宮神社(長田)
- 山荻神社(山荻)
- 莫越山神社(沓見)
- 木幡神社(山本)
- 高皇産靈神社(高井)
- 子安神社(湊)

八幡宮での主な神事

- 9月16日**
- 13:00~16:00 各社・神輿着御
 - 19:00 六所祭
 - 20:00 三芳・八幡太鼓の奉演(予定)
- 9月17日**
- 4:00~6:00 出祭各神社朝祈禱
 - 11:00 安房国司祭・八幡宮祭典
 - 15:00 北条地区山車入祭・祭典
 - 17:00 各社・神輿還御

山車・お船 年番通過予定

16日		17日	
無料休憩所前	出発 13:30	神尾印舗前	出発 13:00
神明神社	到着 15:00	八幡宮	到着 14:30
神明神社	出発 16:30	(最後尾 山車 JA安房前信号)	14:30
太田歯科医院前	17:10	八幡宮	出発 16:00
南町交差点	17:40	JA安房前信号	通過 17:00
新宿 神明神社	18:20	館山駅東口	進入 17:30
解散	19:20	年番渡しの儀	19:20

17日 14:30 山車到着/15:30参列完了
15:30までに年番を先頭に5台の山車とお船が宮入りを行います。15:00より八幡宮にて祭典。年番は午後4時、最後の山車も17:00までに八幡宮を退出し、JR館山駅方面へと向かいます。

17日 18:00
八幡宮の神輿がお浜出をして神幸祭を行います。

17日 17:30~
5台の山車とお船が館山駅東口に祭礼最後の集合です。2日間の最後の集合とあって各町の打ち鳴らす太鼓にも熱がこもり、クライマックスを迎えます。

16日 13:30 出発(海岸無料駐車場)
各々の町内巡りを済ませた5台の山車とお船は、北条海岸付近にて1年ぶりの再会をいたします。13:20に合流。昭和通りを経て旧北条村の村社であった、神明町の神明神社へと巡行します。

※W.C…公衆トイレ

